

国土の繁栄と平和をまもろう

本会は自衛隊員の激励及び慰問、退職隊員の就職協力等を行うと共に自衛隊の諸行事に協力し隊員との親睦を図り、防衛思想の普及並びに隊員の健全な育成発展に協力するを目的とする。



第208号

令和元年10月7日

発行所

大阪防衛協会

(〒541-0041) 大阪市中央区北浜4丁目
2番13号 淀屋橋今西ビル4F
TEL 06-6202-8284

発行人 井上礼之

編集責任者 蛸原康治

印刷所 (株)DNPメディアサポート

我が国周辺で何が起こっているのか? (Ⅳ)

(特別寄稿「日本が崩壊寸前の朝鮮を救った」「日本に関わる韓国小史」第2面に掲載)

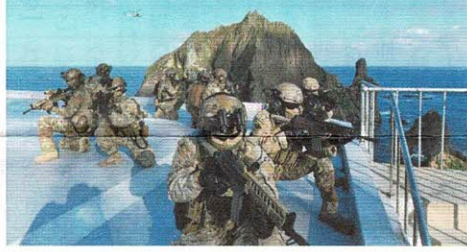
★ロシア軍機竹島上空領空侵犯 (7.23)



★韓国艦からレーダー照射 (18.12.20)



★韓国軍竹島上陸作戦 (8.26~28)



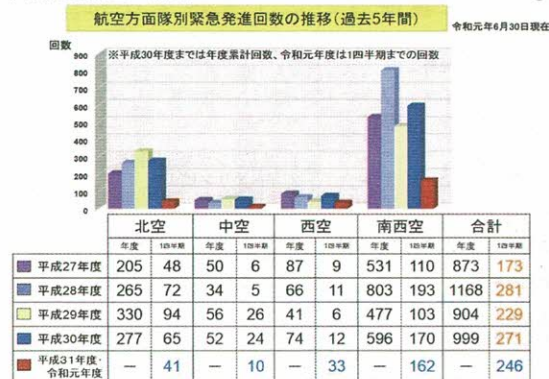
★北朝鮮ミサイル発射再開 (5.4~9.10)

最近の北朝鮮による飛翔体発射



発射日	推定飛翔体	発射	射程	最高高度	発射場所
5月4日	KN-23	2発	約240km(1発)	約60km	元山・虎島半島
9日	KN-23	2発	約420・約270km	45~50km	平安北道・亀城
① 7月25日	KN-23	2発	約600km	約50km	平安北道・亀城
② 31日	KN-23 (新型ロケット砲)	2発	約250km	約30km	元山・葛麻付近
③ 8月2日	KN-23 (新型ロケット砲)	2発	約220km	約25km	永興付近
④ 6日	KN-23	2発	約450km	約37km	クアイル郡付近
⑤ 10日	新型戦術地对地ミサイル	2発	約400km	約48km	成興付近
⑥ 16日	新型戦術地对地ミサイル	2発	約230km	約30km	通川北方
⑦ 24日	分断中(超大型ロケット砲)	2発	約380km	約97km	宣徳付近
⑧ 今年9回目の発射					
9月10日	新型弾道ミサイル(?)	2発	約330km	?	价川付近

★緊急発進の推移

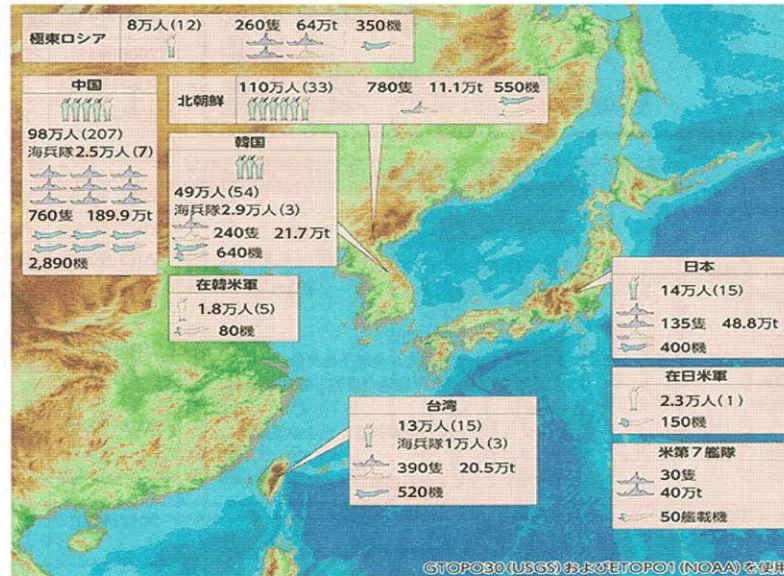


☆日本の領空・領海・排他的経済水域

(※資料は新聞記事及び防衛白書等から転載)



☆我が国周辺における兵力図



- (注) 1 資料は、米国防省公表資料、「ミタリ・バランス(2019)」などによる。
2 日本については、平成30年度末における各自衛隊の実勢力を示し、作戦機数は空自の作戦機(輸送機を除く)および海自の作戦機(固定翼のみ)の合計である。
3 在日・在韓駐留米軍の陸上兵力は、陸軍および海兵隊の総数を示す。
4 作戦機については、海軍および海兵隊機を含む。
5 ()内は、師団、旅団などの基幹部隊の数の合計。北朝鮮については師団のみ。台湾は憲兵を含む。
6 米第7艦隊については、日本およびグアムに前方展開している兵力を示す。
7 在日米軍及び米第7艦隊の作戦機数については戦闘機のみ。
- 凡例
陸上兵力 (20万人) 艦艇 (20万t) 作戦機 (500機)

★「尖閣諸島は中国固有の領土」(中国国防白書 7.24)



★尖閣諸島領海侵入を繰り返す中国海警



日韓小史

西暦	日韓をめぐる事象	国際情勢等
1876(明09)	日朝修好条規	明治政府が朝鮮国を認めた
1894(明27)	8 日清戦争(清国と戦い、日本が勝利)	清国が朝鮮に軍隊を送り込んで支配
1895(明28)	4 下関条約(朝鮮の独立を承認)	朝鮮の独立、遼東半島、台湾譲渡 3 国干渉(露独仏) 遼東半島を返還
1897(明30)	「韓国」国号改称	
1904(明37)	9 第1次日韓協約	1902 日英同盟04.2-05.9 日露戦争
1905(明38)	大韓帝国 11 日韓協約伊藤博文が初代統監	5 日本海海戦勝利 7 ボーツマス条約(竹島は日本領)
1909(明42)	10 伊藤博文満洲国ハルビンにて射殺	
1910(明43)	8 日本による韓国併合	1914-18 第1次世界大戦
1932(昭07)	3 満洲国建国	
1937-1945	7 日中戦争(支那事変)	7 盧溝橋事件
1938(昭13)	陸軍志願兵制度	
1939-1945	9 第2次世界大戦	1940.9 日独伊3国同盟
1941(昭16)	12 太平洋戦争始まる	
1943(昭18)	徴兵令により約24万人が日本軍人	1943 大東亜会議
1945(昭20)	8.15 第2次世界大戦終了	7.26 ボツダム宣言 個人資産257億円(現約5兆円) 残地
1948(昭23)	7 大韓民国樹立、李承晩大統領(1-3代) 朝鮮民主主義人民共和国樹立 キム・イルソン総書記長	1946-1948 東京裁判
1950(昭25)	6 朝鮮戦争勃発	8 警察予備隊 9.13 サンフランシスコ講和条約調印
1952(昭27)	1.18 李承晩ライン宣言(竹島含む)	4.28 サンフランシスコ講和条約発効
1953(昭28)	7 朝鮮戦争休戦 10 米韓相互防衛条約調印	1956 国際連合加盟
1960(昭35)	8 伊清善大統領(4代)	
1961(昭36)	5 韓国軍政樹立	
1963(昭38)	12 朴正熙大統領(5-9代)	
1965(昭40)	6.22 日韓基本条約締結※1 (日本と大韓民国(韓国)との間で署名された両国の関係正常化に関する条約) 「漁業協定」「請求権協定」「文化財及び文化協力協定」等	※1 日韓請求権協定 総額8億ドル(無償3億ドル、政府借款2億ドル、民間借款3億ドル、韓国国家予算の2.3倍)の援助資金と引き換えに請求権に関するもんだいが「完全かつ最終的に解決された」と記された上で韓国側は請求権を放棄した。
1973(昭48)	8 金大中誘拐事件	1972 沖縄本土復帰
1979(昭54)	10 朴大統領暗殺	
1980(昭55)	5 光州事件 9 金斗熈大統領(11-12代)	
1983(昭58)	9 領空侵犯大韓航空機撃墜	
1986(昭61)	9 第1回日韓経済閣僚会議	
1987(昭62)	全国38市郡大規模デモ 大韓航空機爆破事故	
1988(昭63)	2 盧泰愚大統領(13代) ソウル五輪開催	ベルリンの壁崩壊
1989(平01)	天安門事件	1 湾岸戦争
1991(平03)	従軍慰安婦名乗り、日本提訴	
1992(平04)	1 宮澤喜一首相日韓会談で謝罪	
1993(平05)	2 金泳三大統領(14代) 8 河野洋平官房長官「お詫びと反省」表明	
1995(平07)	7 民間のアジア助成基金が発足	1.07 阪神淡路大震災
1998(平10)	2 金大中大統領(15代) 7.12 韓国東岸で北朝鮮工作員死体発見 10 日韓共同宣言※	※金大中・小渚首相により安全保障、防衛交流強化、北に対する共同歩調確認
2000(平12)	6.13-15 南北首脳会談(平壤)	
2002(平14)	5-6 サッカーW杯日韓大会 小泉首相訪朝金正日日本人拉致謝罪	10.15 拉致被害者帰国
2003(平15)	2 盧武鉉大統領(16代) 4 韓流ドラマ「冬のソナタ」日本放送	3.20 イラク戦争
2005(平17)	3 島根県議会「竹島の日」条例案可決 日韓通貨スワップ締結	2004-2006 自衛隊イラク人道復興支援
2006(平18)	安倍新内閣発足	10.9 北核実験
2007(平19)	3 アジア助成基金解散	1.09 防衛省発足
2008(平20)	2 李明博大統領(17代)	5.12 中国四川省大地震
2010(平22)	3.26 韓国哨戒艦沈没事件 11.23 延坪島砲撃事件	
2011(平23)	12 ソウル日本大使館前に慰安婦像設置	3.11 東日本大震災
2012(平24)	8.10 李明博大統領島根竹島に上陸	
2013(平25)	2 朴槿恵大統領(18代)	2.12 北朝鮮核実験
2014(平26)	4.30 韓国旅客船「セウル」号沈没 韓国軍島根竹島周辺で軍事演習	
2015(平27)	12.28 日韓両政府が慰安婦問題の「最終的かつ不可逆的な解決合意」	3.18 露クリミア半島侵攻
2016(平28)	5.13 韓国与党「セウリ」党惨敗 7 慰安婦財団設立 8 日本政府財団に10億円拠出 11.23 日韓軍事情報包括保護協定締結 12 釜山の日本総領事館前に慰安婦像	10億円拠出
2017(平29)	3.10 朴大統領罷免 5.10 文在寅(19代)政権発足 8.17 元徴用工個人請求権存在見解 10.28 慰安婦合意韓国側検証	25-27 伊勢志摩サミット
2018(平30)	1 日本提出金凍結 2.9.25 平昌オリンピック開催 4 南北首脳会談 5 文大統領日韓首脳会談来日 6 米韓合同演習中止 9.19 南北首脳会談共同宣言署名 10.10-14 韓国国際親善式 海自断る 10.30 韓国大法院が新日鉄住金に徴用工への賠償金支払いを命ず 11.21 韓国慰安婦財団を解散 11.29 最高裁三菱重工に賠償判決 12.20 韓国駆逐艦海自機に火器管制レーダー照射 12.28 レーダー照射防衛省動画公開	1.20 トラUMP米大統領就任 2 平昌オリンピック 3 金正恩訪中、朝中首脳会談 4 南北首脳会談 5.14-29 北ミサイル発射 6.12 米朝首脳会談 9.03 第6回核実験(水爆?) 9.24 米朝首脳会談

韓国併合への経緯

清国は西暦一八四二年、アヘン戦争で英国に敗れ、香港島を奪取された。その腹いせに朝鮮を収奪しようと計画した。元来、清国は朝鮮を属国と思っていたから朝鮮の内乱に付け込んで軍隊を送りこんで支配を強化した。

日本にとって朝鮮は一番近い隣国であり国防の生命線であった。朝鮮の独立を守るために日本は、一八九四年七月二十五日に清国と戦争し、一年足らずで日本軍は圧勝した。(日清戦争)

一八九五年下関で講話条約が結ばれ、日本は清国に朝鮮の独立を承認させた。(下関条約)

もしあの時、日本が清国と戦わなかったら朝鮮は確実に清国の属国となり、李王朝は潰されていたことは明らかであろう。

日本に惨敗した清国は欧米列強の分割の対象となり、山東省をドイツに、威海衛を英国に広州湾をフランスに取られてズタズタに分断された。さらにロシアは満州と朝鮮を侵略しようとした行動した。(三国干渉)

特別寄稿

「日本が崩壊寸前の朝鮮を救った」

大和クラブ会長



国土 篠田喜作

犠牲と支援にもかかわらず内乱が続く、いつまでたつても独立国家としての自立が困難で一九〇五年十一月改めて日韓協約が結ばれ、伊藤博文が統監として京城に赴任し、外交を掌り朝鮮の独立を支援したが一九〇九年満洲国ハルビン駅頭で朝鮮人安重根に射殺されたために翌年八月朝鮮側の意思決定に基づいて日本は朝鮮を併合したのである。(韓国併

本は莫大な資金と人材を注ぎ込んで大きな犠牲を払う必要はなかった。
▼韓国併合前までの朝鮮
日本が併合する前までの韓国は今の北朝鮮の農村以上に貧困であった。首都京城にすら道路らしき道路もなく、山林、農地は荒れ果て、川という川は汚物と糞尿とゴミで悪臭に満ち、疫病が蔓延していた。

倉 従って日韓併合は欧州列強の植民地支配とは基本的に違うのである。(戦前の教育を受けた者なら小学校の子供でも知っていたが、戦後はマッカーサー司令官に間違つて教えられたので殆どの者が知らない。)
もし朝鮮が、当時名実ともに完全な独立国家であったならば日

十五世紀半ばまで独自の文字もなくハングルがつくられたのは李氏朝鮮第四代世宗のころである。それまでは全て漢字であり、読める者、書ける者は極めて少数であった。
清国の軍隊がソウルに駐屯し、千年にわたる支那の属国であり、農業は植物依存の小作であり、工業は皆無で、飢餓と疫病と内乱の絶え間がなく、王朝を頂点として両班、民衆、奴婢の厳しい身分制度で、平均寿命は何と僅かに二十四歳であった。

▼韓国併合で何が変わったのか

韓国併合以来、日本は総ての朝鮮人と仲間、仲間、兄弟と位置づけ、差別せず、平等、対等に扱った。朝鮮から日本に來た子供達は日本の各地域の小学校に入学し、進学したい者は日本人として試験を受け、合格した者は入学し、成績優秀者は級長、学年組長にもなった。そこには何一つ差別はなかった。

一九三六年陸軍士官学校制度が実施され、多くの朝鮮人青少年が自らの意思によって軍人となつた。

▼日韓基本条約について

一九六五年に「日韓基本条約」が締結され、日韓のすべての問題を解決し、過去の出来事を水に流し、日本は韓国再建に公私に亘って甚大な支援を行ってきたのである。この時、日本は政府から五億ドル、民間から五億ドルの大金を供与した。当時韓国の外貨保有高は二億ドル以下であった。

そのお陰で韓国は北朝鮮と違って急速に近代化に成功し、大発展した。「漢江の奇跡」を生んだのである。(3面に続く)

西暦	日韓をめぐる事象	国際情勢等
2019(平31令01)	1.02 徴用工訴訟で新日鉄住金資産差し押さえ着手	3.26 金正恩・習金平会談
	1.05 韓国国際親善式日本不参加	4.21 スリランカで同時爆発テロ
	1.15 韓国国防白書「価値共有」削除	6.12 米朝首脳会談
	1.23 海自哨戒機「低空威嚇飛行」を発表	6.13 ホルムズ海峡で日本タンカー攻撃受け
	2.07 韓国議長天皇陛下に謝罪要求発言	6.28-29 G20サミット(大阪)
	2.27 米朝首脳会談(ベトナムハノイ)	6.30 米朝首脳会談(板門店)
	5.20 日本仲裁委員会の設置を要請	7.2 INF(中距離核戦力)全廃条約失効
	6.19 日本第三国選定委員による仲裁委設定要請	7.23 露軍空中管制機竹島領空侵犯 韓国軍機が警告射撃
	7.01 韓国への輸出管理体制の見直し	7.25-9.8 北計8回短距離弾道ミサイル等発射
	7.04 対韓輸出規制発動(フッ化ポリイミドレジスト、高純度フッ化水素)	8.26 G-7 首脳会談(仏)
	7.09 韓国 世界貿易機関(WTO)で批判 親北国に不正輸出	9.14 サウジアラビアの石油施設爆破
	7.12 日韓事務レベル会合	
	7.24 韓国世界貿易機関(WTO)に提訴	
	8.02 「ホワイト国」韓国除外閣議決定※2	
	8.05-20 米韓合同軍事演習	
	8.15 文大統領光復節演説	
	8.21 日中韓外相会談(北京)	
	8.22 韓国軍事協定を破棄決定※3	
	8.25 「独島防衛訓練」から「東海領土守備訓練」に変更し竹島に上陸	
	8.28 「ホワイト国」韓国除外	
	8.30 米軍基地早期返還推進要請	
	9.6 ソウル・釜山戦犯企業不買条約可決	※2 ホワイト国 軍事転用できる物品や技術の輸出をめぐり日本政府が手続き簡素化などの優遇措置をとっている国。米国や英国の欧米諸国の他韓国やアルゼンチン、豪、ニュージーランド等27カ国。
	9.9 曹国(チョグク)氏を法相に任命	※3 軍事情報包括保護協定(GSOMIA) 国や機関同士で軍事上の機密情報を提供し合うにあたり、第3国への情報漏洩や目的外の使用を防ぐために結ぶ協定。
	9.11 韓国WTOに日本を提訴	11月22日を最後に終了する。
	9.11 韓国 東京五輪で旭日旗禁止をIOCに要請	韓国とは2016年11月に締結した。

(2面より続く)

▼日韓の架け橋

朝鮮王朝に嫁いだ方子妃殿下

明治三十四年(一九〇一)十一月四日、梨本宮守正王の第二正女王として方子さまがお生まれになった。母上は鍋島直大侯爵の次女伊都子妃である。

明治四十三年に韓国を併合した日本は欧米列強が行った植民地政策とは全く異なり、双方対等の併合を推進するために方子妃殿下を五百年二十七代続いた朝鮮王朝李太正の王子李垺殿下と結婚させた。

日本政府は日韓併合後朝鮮を外圧から守り、手厚く支援し、李王朝の全財産を保護し、その上莫大な資金を李王朝と朝鮮に支給した。

これに対して李太正は非常に感謝された。真実は日本が朝鮮の未曾有の苦境を救済したのである。李太正も朝鮮の要人達も朝鮮の

王子に日本の皇族をお嫁さんに貰った上に莫大な財産預ければ最高であると思った。

しかし物事は計画通りには行かない。大東亜戦争は不運にも敗れ、朝鮮は南北に分断され、韓国に反日の李承晩政権が生まれ、日本は連合国に占領され、マッカーサー総司令官が日本を支配した。

李殿下は十二歳で日本に留学して以来約四十年、日本の皇族と同等の厚い庇護の下に育ち、方子妃殿下と結婚され、至福な青年時代を過ごされたが、GHQの指令で皇族・華族の臣籍降下となり、失意のうちに昭和三十四年脳血栓で倒れた。

連載エッセイ

夕暮れの街 その84

新渡戸稲造・武士道 72



M&Uスクール学長 梅谷 忠洋 (フルート奏者・「おもいで酒」作曲家)

一九六五年(昭和四十年)、我が国は隣国・韓国との国交を正常化しました。この日韓基本条約を結んだ際、日本は八億ドル以上の経済援助金を韓国に支払い、その代わり今後過去のことを持ち出さないようにしようということが決まりました。

この頃はアメリカとソ連が冷戦状態で、極東アジアのアメリカの味方は日本と韓国だけでした。中国や北朝鮮、モンゴルはソ連の味方だったので、アメリカは日本と韓国に仲良くしてほしかったのです。こんな事情で、アメリカの後押しでこの条約が結ばれました。

またその当時、軍事独裁政権だった韓国は、いつ北朝鮮が攻めてくるかわからないので日本から資金援助を求める理由もあり、この条約が締結されました。

▼分岐点は文在寅(ムンジェイン)以来五十五年目、日韓関係は戦後最悪と言われる状態です。韓国

根柢下は七十才で亡くなった。方子妃殿下はその日から反日感情吹きさす韓国で一人悠々と立ち上がり、福祉事業に生涯を賭けられた。

先ず小児麻痺のために「明暉園」を設立、続いて精神薄弱児のために「慈恵学校」を設立された。妃殿下は毎日自ら施設の中に入って子供達を教育されたので子供たちは妃殿下に抱き着き、話まくり離さなかった。

妃殿下は施設の使用を捻出するために自らの書や絵を描いて売り歩き、趣味の七宝焼きを自ら焼いて世界中を歩き回って売り歩き、八十才を過ぎては働き通された。

昭和五十六年(一九八二)韓国政府は妃殿下に牡丹勳章を贈った。

昭和五十五年九月二十三日、東京赤坂プリンスホテルで方子妃殿下の喜寿を祝う会が盛大に催され、自衛隊音楽隊が演奏する最

にまで発展しかねないこのような状況は、何故なくならないのでしょうか。

▼黙示録の四騎士

悪い政治や政策から、男女の諍いに至るまで、現代社会は対立が激化することばかりです。収束する傾向になりません。そこには人間の闇の部分の横たわり、その究明なしには、世界平和を実現することは不可能だからです。

人間から憎しみの心がなくならず、むしろそれが加熱されるのは何故原因なのか……米・シアトルの心理学者のキャリー・コール博士は、こんな醜悪な心のスパイラルを断ち切る研究をしています。

彼女は、本来引き合うはずの男女が、反発する割合の多いことに気づき、その原因は何かという研究(Love Lab)に入りま

した。そして、それが相手に対しての「姿勢・表情・言葉・行動」が要になることに着目し、「人間は潜在的に潜む恐ろしい四つの感情を持っており、それが目を覚ました時、お互いの心が反発しあう」ことを発見しました。コール博士はその四つの感情を、聖書の「ヨハネの黙示録」の特徴ある四人の騎士になぞらえて、「黙示録の四騎士」と名付けて

解説しています。

「ヨハネの黙示録」は、新約聖書の最後に置かれた「預言書」です。それは、神の霊示を受けた人間(キリスト)が、神の啓示(預言)を我々に伝えるためのもので、単に将来どうなるかという「予言」ではなく、人間が正しい道を踏み外したならどんなことが起きるかを倫理的、観念的に戒めたものです。ヨハネは、人間の心を象徴的な四騎士の出現で、その結果を認めています。

●第一の封印が解かれたときに現れる騎士は、白い馬に乗り、手には弓、頭には冠を被っている。

●第二の封印が解かれたときに現れる騎士は、赤い馬に乗り、手に大きな剣を握っている。

●第三の封印が解かれたときに現れる騎士は、黒い馬に乗って、手には食料を計る天秤を持っている。

●第四の封印が解かれたときに現れる騎士は、青白い馬に乗って、側に黄泉を連れている。

(青白い馬の暗示。ハデス＝疫病、災害)

ここに記されている「封印が解かれる」とは、相手への侮りや傲慢性

その静けさを破って勇壮な「軍艦マーチ」が流れた。熱い感動の中で皆涙を流しながら方子妃殿下の今後のご健勝を祈って合掌した。「軍艦マーチ」には凄じいパワーがある。それを望まれた妃殿下はさすがに大和撫子である。

平成元年(一九八九)四月三十日ソウルで八十七年の波乱に満ちた生涯を閉じられた。

韓国では五月八日、妃殿下が住まわれた旧朝鮮王朝王宮昌徳宮から王家の墓地である英園まで、二キロの道を古式に則り、葬礼行列が約二千人の従者と共に行われた。韓国側から姜英勲首相、日本から三笠宮と同妃殿下が代表として出席された。

私はかつて昌徳宮で方子妃殿下からお茶を共にさせていただいたことがある。その間隙と妃殿下が言語に絶する苦難を乗り越えて韓国のためになりふり構わず一生懸命働いておられるお姿を

から生じる心の乱れを表して、馬の色や持ち物でその結果を暗示しています。

コール博士は、この四騎士になぞらえて、我々の心に潜む四匹の悪魔を表現しました。これらは、自分の行為・行動に気付かずしていると、自ずから封印を解いて出現してきます。言わば「破壊へのパスポート」です。さて、その「四騎士」とは、

●批判・防衛・拒絶・軽蔑です。

この「四騎士」のいずれかが現れると、本来引き合うはずの最もシンプルで関係の男女であっても破綻に向かいます。人間は誰しも「自分が正しい」と思わなければ行動エネルギーの点火はありません。それは、国益や国力が軍事力や世論と結びついた国同士の複雑な関係であつても同様に、その根底にあるその国のリーダーの心の潜むこれらの四騎士の感情が大きく作用します。そして、民衆に対してこの四匹の悪魔を出現させるべく先導するような政府は、それこそ悪の権化です。特に最後の「軽蔑」は、互いの関係を壊す硫酸であり、すべてを破壊する凶器なのです。

▼さて、その救済法は?

こんな心に潜む悪魔を殲滅する方法は、まさに「武士道精神」を

※7月10日「まもり」第207号3ページ夕暮れの街第4段▼天皇の考へは、2行目の大御心のルビが「だいみこころ」となっておりましたが「おおみこころ」の誤りでした。訂正してお詫言申し上げます。

復活し、自分が周囲に対してどのような影響を与え、それがどのような事象に発展してゆくのかを想定できる理性が大切です。武士道とは彼我一体の境地の中から「惻隱の情」や思いやりの心の中から真の正義を見いだし、相互関係の中から最善の策を見つける心です。それに比べると、蒙昧なカッパルや国家関係は、共有する時間の七割以上を相手の気持ちを無視した「我」で接するといえます。

このままでは、それこそ聖書に出てくる街「ソドムとゴモラ」の如く自滅しかねません。

ですから、賢たる国家は、相應の抑止力としての武力を背景に威嚇を与え、同時に、もう一方の手で、こんな心の奥に潜む潜在的な感情を研究し、率先垂範で真の平和とは何かを、余裕の態度で顯示してゆくことが肝要なのです。

桶 滴

「国家の品格」を問う

○平成22年の総会において、当時、超バストセラの「国家の品格」を著した藤原正彦先生(お茶の水女子大学名誉教授)の講演録を繰りとその結論は、日本人が営々と築いた「周りの人が幸せでなければ自分の幸せがない」「弱者に対する惻隱の情」「技能技術を道に昇華する心」「家族を愛し、故郷を懐かしみ国を想う心」「自然に跪く謙虚な人間性」「武士道精神に基づく日本人特有の美的感受性」が人間の品格である。

○さらに「品格ある国家」の指標は、第1に独立不羈。自らの意志によって行動の出来る独立国であり、自分の国は自分で守るという覚悟が必要である。

第2は高い道徳すなわち人々がそれによって善悪正邪を判断し、正しく行為するための国柄を保つこと。

第3に美しい田園。金銭至上主義に侵されなく、美しい情緒が存在し、祖国愛や惻隱の情が生きている

第4に天才の輩出。役に立たないものや精神性を尊ぶ土壌、美の存在、跪く心などが必要。

○我々日本人は子供の頃から「嘘をつくな」「約束は守れ」「弱い者いじめするな」「卑怯な真似をするな」「人の悪口は言わない」「他人に迷惑をかけるな」「水に流す」等々躰けられた。

しかし今号で特集した某国については全く当てはまらない。人間としては自分の身をなげうつて世のため人のために努力する姿、国家としては世界平和と人類の幸せのため助け合える国家が品格が高いと言えるのだろ

うか?

そして氏曰く「野卑な国々とは一線を画し、日本は国家の品格をひたすら守ることが日本を救い、世界を救う」と。

(令和元年10月1日KE)

新着任幹部紹介

☆陸上自衛隊中部方面総監

陸将 野澤 真
昭和38年1月生
埼玉県 防大30期
(昭和61年卒)

☆岸川前総監は勇退

陸将 梶原 直樹
昭和40年4月生
東京都 防大32期
(昭和63年卒)

☆田中前第3師団長は陸上自衛隊教育訓練研究本部長へ

☆航空自衛隊幹部候補生学校長 兼奈良基地司令
空将補 藤永 国博
昭和45年6月生
山口県 松山大学
(平成6年卒)

※増田前学校長は飛行開発実験団司令へ

☆海上自衛隊阪神基地隊司令 一等海佐 寺田 博之
昭和42年3月生
徳島県 防大33期
(平成元年卒)

※深谷前司令は勇退

☆中部方面総監部防衛副官長

陸将補 斎藤 兼一
※坂本前幕僚副官長は陸上総隊司令部運用部長へ
(以上8月23日付)

中部方面隊音楽まつり

2019年度中部方面隊音楽まつりが下記要領で開催されますのでご案内いたします。

日時 令和2年1月12日(日)
第1回 10:30~12:20(開場09:30)
第2回 18:30~20:20(開場17:30)

場所 兵庫県立芸術文化センター
(阪急西宮北口駅徒歩5分)

応募要領 (無料 入場券が必要です)

・住所・氏名・年齢・電話・職業・希望回・希望枚数(3枚まで)12月20日までに事務局へご連絡下さい。
※応募者多数の場合は抽選とし、当選者に入場券を発送します。

お問い合わせ 事務局へ
☎F 06-6202-8284

RIPS関西安全保障セミナー2019

「米中「新冷戦」と日本の選択」

一般社団法人平和安全保障研究所 主催セミナーにご参加ください。

日時: 12月13日(金) 14:00~17:00

場所: 大阪大学中之島センター10F

基調講演演題と講師

米中「新冷戦」と日本の選択 吉崎達彦氏(双日総研エコノミスト)

パネル討論

吉崎達彦氏 村田晃嗣氏(同志社大学教授) 小原凡司氏(笹川平和財団研究員) 聴講無料(懇親会出席者4000円)

聴講希望者は ☎F 06-6202-8284へ

ゴルフ大会のお知らせ

第3回OBK杯ゴルフ大会を下記要領で開催します。奮ってご参加下さい。

○11月2日(土)0944スタート
○花やしきゴルフクラブよかわコース
○女性・ビジター様歓迎(24名先着順)
○希望者は当協会事務局へ10月20日までに下記へお申込み下さい。
TEL&Fax 06-6202-8284へ

女心の防衛論 「投票率低下」憂国論



大阪府立大学教授 堀江 珠喜

7月の参議院選挙直前、府大一年次のゼミ生15名に、過去の投票について尋ねた。全員、18歳以上だし、4月の統一地方選では投票の機会があったはずだ。投票しなかったのなら、何故しなかったのか? また投票したなら、誰に入れるか、どのように決めたのか? 若者層の投票率が低いと問題視されているが、単に「政治に無関心」なのだろうか? いや、そうでもない。遠方に実家のある5名のゼミ生は、下宿に住み、票を移しておらず、かと言って、選挙のために帰郷もできない状況だったのだ。では何故、住民票を実家に置いたままなのか? そんなプライバシーについて問うのは、「パワハラ」と受けとられかねない昨今、敢えて、理

由を聴かなかつたが、4年間の生活のために面倒な手続きをしたくないということだろうか? マインナー制度も始まり、正式な転居は、以前より複雑化しているように思える。よし悪しはともかく、この現象は、なにも私のゼミ生に限るまい。大都市には、住民票を故郷においたままの若者が、少なからずいるはずだ。せめて国政選挙の比例代表だけでも、パソコンからの投票を可能にすれば、結果は異なるのかもしれない。また、一人のゼミ生は、選挙通知書が選挙から郵送されることも知らなかった。

「我が家では、これまで誰も選挙に行かなかったことありません」とか。「在日」とは聞いていないので、「もしかしして一家は住民票を置いたまま、夜逃げでもして来たか?」などと連想せざるを得ない発言に、私は絶句。票時間終了の夜以外、多くの時間を

- 行事メモ (令和元年10月~12月)
- 中部方面隊創設59周年記念日(伊丹) 10月6日(日)
 - 今津駐屯地創立記念日(滋賀県) 10月13日(日)
 - 自衛隊記念日観艦式相模湾周辺 10月14日(祝)
 - 青年部会全国研修会山口大会(山口県) 10月16日(水)
 - エフエス浜松2019(浜松基地) 10月20日(日)
 - 堺まつり音楽パレード(堺市) 10月20日(日)
 - 第10師団創立記念日(守山) 10月27日(日)
 - 空第108期一般幹部候補生(BI)卒業式(奈良) 10月29日(火)
 - 第3回OBKゴルフ大会兵庫県吉川※1 11月2日(土)
 - 福知山駐屯地創立記念日 11月3日(日)
 - 空自小牧基地航空祭(愛知県) 11月9日(土)
 - 第3師団追悼式(伊丹市千僧) 11月9日(土)
 - 桂駐屯地創立記念日(京都) 11月10日(日)
 - 空自岐阜基地航空祭 11月10日(日)
 - 姫路駐屯地創立記念日 11月17日(日)
 - 宇治駐屯地創立記念日 11月23日(土)
 - 八尾駐屯地創立記念日 11月24日(日)
 - 自衛隊音楽まつり(東京) 11月30~1日(日)
 - 関西安全保障セミナー(大阪※2) 12月13日(金)
 - 阪神基地隊年末行事(神戸) 12月初旬
 - 女性会による女性自衛官激励と阪神病院入院患者見舞い(伊丹・千僧・川西) 12月初旬
 - 大阪地本防衛フェスタ2019(大阪) 12月14~15日(日)
 - 中部方面音楽まつり※3 令和2年1月12日(日)
 - 陸海空協会 (陸海空協会)



会員増勢運動について 協力をお願い

大阪防衛協会は、昭和三十八年(1963)一月、北陸地方一帯を襲った豪雪に際し、自衛隊が出動し、その献身的な働きに感動した関西経済連合会を中心とする多くの財界人によって昭和三十九年二月松下山幸之助氏を初代会長として創設され、平成二十六年に五十周年を迎えました。

協会は創設以来、PKO・災害派遣隊員の激励慰問、入院患者見舞い、殉職隊員家族用慰問霊柩協力、新入隊員激励、隊員募集協力等の支援活動を行う他、機関紙の発行、講演会・フォーラムの開催、音楽隊演奏会の支援、演習等視察見学、体験飛行、航海、青年部による防衛防災フェスティバルや婚活活動等を行っています。

さらに最近では世界の安全保障環境が激変している中、平成二十八年三月から「平和安全保障法制」が施行されることになりました。

自衛隊は今後ますます厳しい「国を守る気概」示そう!

※ご入会希望の方、ご紹介下さる方は事務局までご連絡下さい。

〒544-0004 大阪市中央区北浜四二二一三 淀屋橋今西ビル4F 大阪防衛協会事務局

電話・FAX 〇六六二〇二八二八四

年会費
特別会員(法人) 一口 三万円
賛助会員 一口 一万円
普通会員 一口 三千元
家族会員 一口 二千元

会長 井上礼之
(ダイキン工業(株)取締役会長)

「沖縄・与那国島研修」募集

(全国防衛協会連合会30周年記念事業)

時期 令和2年1月28~30日(木)

研修先 沖縄の陸海空米軍基地及び与那国駐屯地

費用 約13万円

※参加希望者は10月8日までに事務局へご連絡下さい。

事務局だより

○平成28年から「まもり」紙上において「我が国周辺で何が起きているのか?」シリーズで今回は最後の韓国について掲載しましたが、他の記事も関連しておりますので併せて一読いただければ幸いです。

○今夏は猛暑の連続と台風及び異常気象に悩まされ、その傷跡もまだ残ったままですが如何お過ごしでしょうか?

○まもり208号お届けします。

○10月以降、自衛隊の記念日、その他関連のイベントもございまして、大いに参加下さい。

○特に行事メモ欄の※1、※2、※3についてご参加希望の方は、お早目に「二報」ください。

事務局 TEL&FAX 06-6202-8284へ